

支部だより

冬号 NO 64
令和 5年 1月
電気管理 山形県支部
【禁複写】



～ 目 次 ～

支部長 ご挨拶	支部長 佐藤 智	… 1
令和4年度 第3回研修会報告	広報委員 岸 勇一	… 2
施設見学会	山形地区 鈴木 文刀	… 3
業績者表彰10年を受賞して	置賜地区 船山 和彦	… 4
功績者表彰20年を受賞して	置賜地区 蒲生 定男	… 5
功績者表彰30年を受賞して	置賜地区 鈴木庄市郎	… 6
	天童・寒河江地区 旭 一彦	… 7
	置賜地区 竹田 吉男	… 8
元気のみなもと	山形地区 佐藤 博昭	… 12
私のこだわり自慢	天童・寒河江地区 石山 昭人	… 13
山形県支部の動き・会員の動き	広報委員 岸 勇一	… 15

表紙のことば

置賜地区 会員番号 795 船山 和彦

横川ダムは昭和42年羽越災害を受け、平成20年に完成。

国道113号線 箱口地区丁字路から横川ダム方向2分です。

豆知識 横川ダム高さ VS 山形県庁 ?

どちらが高いか？ 答え 横川ダム(72.5m)です。

ちなみに、山形県庁(61.4m)

皆さんも、小国へ来られたら立ち寄って見たら!!



新年を迎えて

支部長 佐藤 智

新年明けましておめでとうございます。会員の皆さまにおかれましては、旧年中は支部運営にご指導、ご尽力いただきまして誠にありがとうございました。本年も宜しくお願ひいたします。

昨年も気候変動の影響でしょうか、多々災害に見舞われて皆さまもご苦労なさったこととお察し致します。そして、年末には急激な寒波の襲来にて記録的な大雪の影響で、県内各地においても長期の停電が発生して被害に遭われ、対策に苦慮されたことと思います。雪国の宿命とはいえども非常時の電源確保を痛感しました。

私たちの保安管理業務に係わる関係法令の変更もあり、該当して対応に追われる方もいらっしゃるかと思いますが、早めの準備をお願い致します。それとともに低濃度PCB廃棄物の処理についても、令和9年3月31日迄に迫ってきておりますので、安全確保のうえ再度確認していただき掘り起こし調査及びお客様に対しての啓蒙活動をお願い致します。

サッカーの日本代表「SAMURAI BLUE」はFIFAワールドカップ（W杯）カタール大会の決勝トーナメント1回戦で、クロアチアとPK戦の末に惜敗。大会から姿を消して、8強の夢は叶いませんでしたが、日

本サッカー史上初めて2大会連続の16強という結果を残しました。ワールドカップでの活躍で寝不足の方も、一喜一憂されて夢と希望を頂いたのではないでしょうか。

しかし、残念ながら2月24日から始まったロシアのウクライナへの侵略は年内の終結を見ずに、電力インフラ攻撃など一般市民を巻き込んでの悲惨な状況が未だに続いております。一刻も早い終結を願い、子供達がのびのびと暮らせる事を願うところです。

コロナ禍もなかなか収束とはいきませんが、今年一年もコロナと共に身の感染防止対策を講じつつ、各事業場において安全で確実な電気保安管理点検業務の遂行をお願い致します。

最後になりますが、会員の皆さまの益々のご発展とご健勝を、また、電気事故のない安全な一年になりますよう祈念しまして新年のご挨拶とさせていただきます。



令和4年度

第3回研修会報告

広報委員 岸 勇一

開催日：令和4年11月21日（月）
場 所：あつみ温泉 たちばなや

【第1部 研修会】

研修内容

①投入不具合の謎解き

（株）ケーイーシー

則武 継雄

②地区持ち回り研修会

鶴岡地区 大久保 秀樹
長谷川 充



③サイバーセキュリティの確保

本部事務局

鈴木 潔



【第2部 懇親会】

あつみ温泉たちばなやの大広間にて6時から開催されました。鶴岡地区的山口守さんの司会進行で佐藤支部長あいさつ後、須貝副支部長の乾杯ではじまり盛大に盛り上がりいました。



【第3部 施設見学会】

翌日の22日は加茂水族館で施設見学会が行われました。詳しくは山形地区の鈴木文刀さんが記事にしてくれましたので読んでください。



『加茂水族館』施設見学会

山形地区 NO947 鈴木 文刀

「たくさんのクラゲが見られる！」で知られる加茂水族館は、2012年にはクラゲの展示数30種類とギネスブック認定の世界一のクラゲ水族館になりました。現在、約50種類もの世界のクラゲが展示されています。今回はそんなクラゲの展示室や水槽の裏側を見るとの出来る冬季限定のバックヤードツアーに参加しました。

11月22日（火）に東北電力様の御協力で開催されました。第3回支部研修会の翌日、9時50分に現地集合し、当協会より12名が参加しました。ガイドさんは職員の方ではなく、なんと地元のボランティアガイドでした。有難い事に写真撮影も自由でした。

最初は繁殖室に案内され、クラゲの卵や赤ちゃんを見せて頂きました。小さく区分けされた水槽にチューブで空気が送り込まれ、何となく実験室や理科室のような雰囲気でした。



次に、クラゲの展示用水槽を上から覗き込む「まさにバックヤード」を案内して頂きました。水槽に水を送る配管や濾過機、様

々な計器類など、バックヤードらしい設備が多く置かれていました。海水の影響のか鑄による腐食が目立ち、漏電や断線が心配になってしまいました。職員の方が水槽に餌を投入していましたが、「鯉の餌やり」とは違ってクラゲが群がる訳でもなく、美味しく食べているのか、そもそも本当に食べているのかも分かりませんでした。



そして20分程度で見学が終わり、通常の館内見学の時間も設けて頂きました。淡水魚→海水魚→クラゲと水族館を見学し、ちょうど良いタイミングでアシカショーも行われておりました。通常の館内見学でもクラゲの生態について深く学べるコーナーが用意されており、大人も子供もみんな楽しめる水族館でした。最後は魚匠ダイニング沖海月（おきみづき）で、海を眺めながら昼食を御馳走になりました。

普段は見る事の出来ないバックヤードを見学出来た事、東北電力様やボランティアガイドの方をはじめ、関係者の皆様に感謝申し上げます。

業績者表彰 10 年

初めての入札・落札

置賜地区 NO795 船山和彦

私がこの度、業績者表彰（10年）の栄誉を受け、大変光栄に思っております。私が当協会に入会したのは、10年前の東日本大震災の年です。27年間務めた地元の省力機械メーカーを定年退職し、『保安業務を第2の人生の柱に!』と思うようになりました。

そのきっかけは皆川氏から賛助会員の話を聞き、決断を後押ししてくれたことでした。

賛助会員から正会員とステージが変わりましたが、年次点検業務の応援などを通して、心構えや段取り等を学び2年目以降は、佐藤氏に師事しました。

県支部より、「県境の物件紹介」のメールにすぐさま飛びつきました。この頃は、営業活動しても中々成約できず悩んでいた時期でした。そんな不安な思いを、佐藤氏に相談したらバックアップするからと背中を押してくれました。

入札の資料作成の為に、簡単な地図とカーナビを頼りに下見へ行き、何とか入札書類を提出し落札することが出来ました。国定公園の一角の広大な敷地、携帯電話で繋がるエリアはほんの一部のみです。年次点検時の連絡手段として、無線器を活用しました。PASの開放・投入やOCR試験の進捗状況など連絡方法として役立ちました。

冬期間の月次点検時は、測定器具をリックに詰め、移動手段としてスキーを利用しました。猿を見かけるのは時々ありますが、たまにカモシカを見つけたときには見とれてしまいます。しかし「熊注意！」の看板が

あり、熊の足跡があった時など熊よけの鈴を身に付け、各キュービクルの月次点検を行っています。「熊が〇〇地区に出現！」とのニュースが巷をにぎわせていた時期でしたので、常に気を引き締めて点検業務をしています。今振り返ると無謀な決断と思えますが、背に腹は代えられないということでしょうか？

初めて入札・落札という体験、結果として7年継続することができています。『あわや！波及事故!?』という場面もありましたが、諸先輩方のご協力により無事故で乗り越えられたと思います。

今後も多くの人との関わりを大切に、技術面のスキルアップに努め、(一社)東北電気管理技術者協会の発展に寄与して参りたいと存じます。



業績者表彰 20 年

『協会から表彰を受けて』

置賜地区 NO590 蒲生定男

今回勤続 20 年による協会表彰を受けました。振り返ってみると「あっ」と言う間の 20 年間だったと思います。

私が協会にお世話になるきっかけは前職場を再雇用終了後、協会山形県支部松田さん・村上節夫さん、それに本部、当時協会会长の五十嵐さん・辻本さん方々の熱心な勧めとお誘いがあり入会させて頂きました。特に高校の同級生でもある村上さんには「80歳までは共に頑張り協会を盛り立てて行こうではないか」と言うことばで強く決心し、夢と希望に満ち溢れてのスタートだったと記憶しています。

村上さんは山形支部長引退後間もなく健康を害し 80 歳を待たずに志半ばにしてこの世を去ったことが本当に悔やまれてなりません。

いざ仕事を進めてみると苦難の連続であり思うようには行かないことが多く、はじめは一件々協会の PR と自己 PR をしながら協会の良さを知って頂くように徹しました。こうしたことから、いつしか協会の知名度と評価も上がり、少しづつ仕事が増えてきました。何よりそれは私自身が健康であったことと、諦めることないチャレンジ精

神、それに本部・支部の支援と地区会の皆さまの力添えのおかげであると思っています。

前支部長の田中さん、役員の大場さんには色々ご指導を頂き、この場を借りて厚く御礼申し上げます。そして東北電気技術者協会の益々発展することをお祈りし受賞の御礼といたします。本当にありがとうございました。

最後に私事ではございますが、村上さんとの約束を果たした今、84歳を過ぎて頑張ってはおりますが協会の方々に迷惑を掛けぬよう、また間もなくインボス制度が始まることから、これを機にそろそろ後進に道を譲ることを考えています。



遮断器あれこれ

置賜地区 NO156 鈴木 庄市郎

以前は水遮断器も有ったが、駆け出しの1960年代は油入遮断器が主流を占めていた。

しかしながら噴油事故等が発生し、又火災の要因になる事からオイルレス化が進むことになる。

その後、油入ではあったがタンク一体型から各極独立し接点部のみに油が入った小油量遮断器、アークを引き伸ばし消弧する磁気遮断器（MBB）が採用された。
磁気遮断器はアークシート1極の重量が数十kgもあったから取り扱いが大変であった。

70年近くになると真空遮断器が実用化されたが、当初は開閉時の裁断現象で、サージによる不具合が生じた。軽減策としてVCB二次側にアブソーバを取り付けて対応したが、その後裁断電流が低い電極材料が開発され現在に至っている。当時建設された県内の某病院も該当し、深夜アブソーバの取り付けを行ったものである。

さて、若い頃短絡試験に関わったが、短絡時の大電流を遮断する事は過渡現象も加わり非常に過酷である。次に遮断の流れを記す。

異常が発生しトリップコイルを付勢すると即開極するが、電流は第一相の零点を待って遮断する。この時のバルブ極間にかかる電圧は線間電圧の $\sqrt{3}/2$ 倍で、位相変換の後单相となり残りの第二相と第三相が二点遮断し完結する。

VCB実用化から半世紀余り、近年では特高にも採用され隔世の感がある。





表彰を受けて

天童・寒河江地区 NO172 旭 一彦

人生を振り返るチャンスをいただきました。工業校を卒業し電気屋業界に身を寄せ 50 数年よくやってきたものだと思います。電気工事会社 6 年、電気設計業務 25 年、電気管理業務 36 年、これもひとえに諸先輩方々のご支援のお陰と感謝しております。昭和、平成、令和の時代を振りかえると、昭和の時代、高度成長期で眠る時間も惜しんで仕事に励みました。結婚もして子供 3 人も授かりました。仕事の合間に趣味もそこそこ楽しい時代もありました。

リーマンショックで建築業界も大不況。電気設計の仕事も減少。そんな世の中も経験しました。その時期に故松田森雄様の紹介で、東北電気管理技術者協会に入会をさせてもらいました。入会の折りには大変お世話になりました。管理業務をするにあたり、現場に連れて行ってもらい、点検のコツを指導しもらったこと、今思うと大変助けられました。感謝です。試験測定等については、設計当時に立合い検査で、盤製作会社の試験器及び試験方法のノウハウを、立合いを兼ね勉強させてもらいました。こんなわけで業務を続けてこられたことに感謝しております。

世の中も少しずつ明るい状況になって、これから景気が上向きになろうと言うとき、終息の出口も見えない新型コロナウイルスに苦しんでいます。墨絵のような世の中ではなく、Full color の世の中が早く来るよう願っております。それでも、少しずつ各企業間との会話と、施設への点検等、検温しながら出来る様になってきました。仕事以外でも少数の飲食も出来る様になって来ています。

チョット color ?

今年 75 歳

会員の皆様、お客様の整理がつくまで、もうチョットお付き合いをお願いします。





今まで振り返って

置賜地区 NO187 竹田 吉男

電気管理技術者協会の会員になって36～37年くらいだと思います。もうすぐ66歳に？です。健康寿命というやつがあるが、あと何年かなあ？頭のなかで渦まいてる毎日です。

この期間、停電波及事故は発生しませんでしたが、

○責任分界点開閉器の地絡動作(蛇など)は数回

○責任分界点開閉器 2次側短絡による SO動作2回(波及事故にならず)

○契約需要家の立ち入り検査1回(通商産業省時代)

○契約需要家の火災 原因不明2件 100V器具の使用ミス1件(ぼや) 天井ダウンライトの施工不良(ぼや1件 契約していた時期があった需要家火災1件)

社長が1人で残業していて後ろを向いたら火がでていた。が1件(社長本人が事情聴取で話した内容 塗装工場)

○人身事故1件 200V動力回路に電線を接続しようとしての短絡アーク発生による顔の火傷。(地元の病院3ヶ月入院 転院して3ヶ月入院 皮膚移植した話です)この時は、所轄の警察(刑事)まで来ました。責任者は？事件か事故か？なんか刑事罰でも発生するのかな？少々不安ありました。事故が起きた事業所に来た運送会社の運転手兼、装置の設置技術者本人が4芯1.25mm²のビニールコードをブレーカ接続しようとして発生させたのです。(事故の後で本人が『私出来ますブレーカにつながせてください』と言ったとの話)結果として仕事を請け負った運送会社の社長が、自社の社員に作業命令を出して出先の事業所で作業中に事故になった(事故を起こした)、構図です。それでも自家用電気工作物使用区域内での発生ですので【設置者に報告義務がある】と事故が起きた事業所の連絡責任者(社長)に理解してもらうのが厄介でした。結果として、この時は事故を起こした作業者のミスとして処理されました。

※『私出来ますブレーカにつながせてください。』の話がなかったら、もう少し刑事さんから事情聴取されていたかもです。以上が負の話です。

自分の話になりますが、若干なのですが異端児的なところがあって、高校1年の夏休みにはボロ屋(今は資源回収業)でアルバイトすることもありました。事業所で廃棄になった装置を分解してその資源ごとに分けることでした。中にはおもしろい物もありまして、昭和30年代の2極真空管タンガーバルブ2～3アンペア流せるバッテリー充電用の部品とか、観光バスの真空管拡声器(真空管B電源200Vまで昇圧させるためのバイブルータと思われる物)とか見付けたりしてよろこんでいました。

高卒時は、電力会社の就職試験で落とされ山大Bコースと進路変更・・・。就職した会社の寮生活からはじまり結婚できるまで5回の引っ越し、テレビより電子レンジを先に、また車よりappleコンピューターを

先に買ったりしました。金がないので山大の卒業生の中古車を3万でゆずってもらって乗っていました。(360CC ホンダN3 空冷 ウォッシャー液はハンドルの脇にあるスイッチもどきの手押しポンプ 自分でいじることができて楽しめた)

20代は自動機械の電気屋で過ごしました。10人未満の零細企業ですが、私はそこそこ信頼され、2週間給料もらって山形県青年の船に行かせてもらったりしました。取引先の担当者にもめぐまれ、取引先の仕様の制御盤でなく市販のCPUボードでシーケンサーもどきをつくって収めたり自由にできました。今でも覚えていますが、ある企業の担当者から操作盤のスイッチで『つまんなえーやつだなあ』と言われたことがあります。操作スイッチ3個しか不要ない操作パネル、普通に考え照光式押しボタンスイッチ3個並べただけのパネルでした。『あたりまえのことやってんじゃねーよ。もっと気むかせてくれるよう何か新しいこと付け加えろ』そう言うことだと思いました。40年前の話です。

電気管理技術者になった時も恵まれて、直前まで勤めていた事業所にも出入りを許されました。(勤めている間は、昼飯はいつも工場長の前で昼飯を食べていた。ワインの世間話をしたり、南陽市赤湯の1000円クラスのテーブルワインで賞をとったワインをプレゼントしたりしていた) そこの席しか空いてなかったからでしたが、その事業所ナンバー1 ナンバー2 二人の前で毎日仕出し弁当を食べて、どんな人間だかわかつてもらえたからと思っています。

電気管理技術者になってからも、勤めていた時手伝ってもらった電気工事屋さんか

ら、電気系の制御屋を探しているところがあるから行ってみ！ と教えてもらったりして恵まれました。そこは上場会社の子会社の位置付けで、建材のスレート板JIS規格の製造工場、国内製造の5~6%を製造基本24時間運転製造のプラント工場でした。本社からの出向している人は2人だけ、1人は工場長、1人は私と同じ年齢の人です。私は自動機屋歴10年近くあったおかげで、ちょっとしたトラブルはすべて解消できました。

プラント稼働率アップ、時間あたりの生産枚数の増加のためのプラント改修工事では、プラント本体のメインシーケンサーを最新の物に交換(安川電気より三菱電気に)したり、本格的な11KW交流サーボモーターを導入したり、アスベストの使用禁止になった時は、アスベストを使用しないようにするために水に溶融した紙パルプをよじって紙の纖維を丈夫に長くするプラント【DDR】の電気系を任せられました。(200kwの全閉外扇高圧モーターを、任意の設定電力(紙をよじる力)になるよう0.4kwのモーターで自動負荷調整、それを任意の設定回数繰り返す キュービクルに設置の電力計1~5V出力を読み取って制御) というものです。試運転初日、工場長、工場担当者、現場の人、DDR本体納入業者10人くらいが見守るなかでプラントの制御回路とは別に、最初に過負荷で確実に止まるかの確認をすることになりました。高圧モーター起動完了後に0.4kwモーターで負荷をかけはじめると、キーと金属音が出始めて気が気じゃなく、回路とか設定値がまちがった？？？非常停止釦を押そうか？ それでも負荷を増加させ、10秒ほどだったと思

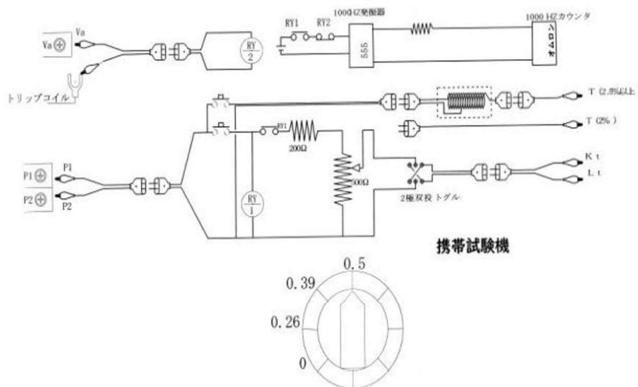
いますが、キーー・グン 過負荷停止してほっとした思い出があります。

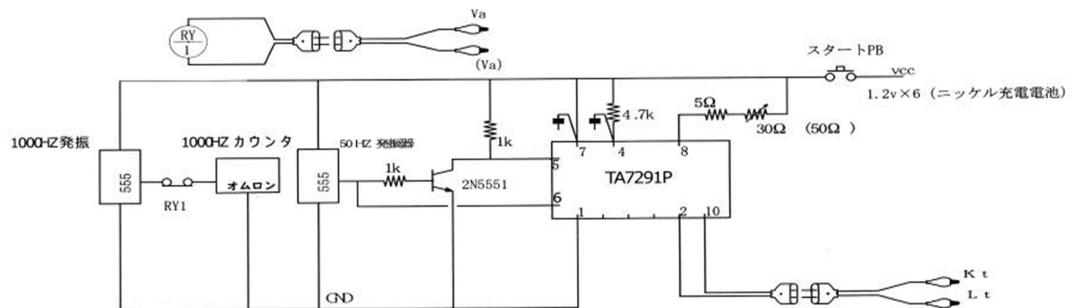
セメントを使用している製品は、セメントの固まり始める時間内に製品にしなくては強度がなく不良品になってしまいます。それどころか、1時間くらいだとプラントを運転再開できますが、1~2時間たったのはB級品 それ以上停電が続くとなると大変です。セメント系統の配管・バルブなどを洗浄してセメントを洗いおとさないと配管が固まってしまい、セメント詰め状態になりプラント全体が使い物にならなくなります。東日本大震災のず~っと前の話ですが、天候が急変して雷雨・豪雨で3時ころ停電になり、なかなか復旧しなかった時があって、行ってもなにも出来ないのに呼ばれたことがあります。夏場で夕方5時ころ復旧して大事にはなりませんでした。

直近では、アマゾンとかヤフーオークションをながめ、電子部品を物色しています。電池ポケット式で簡単にそれなりの動作確認できて、お金をかけないので壊れてもがっかりしないものを目標に、SOG試験器を作ったりしています。なかなかポケットに入るように小型にはできませんが・・・。

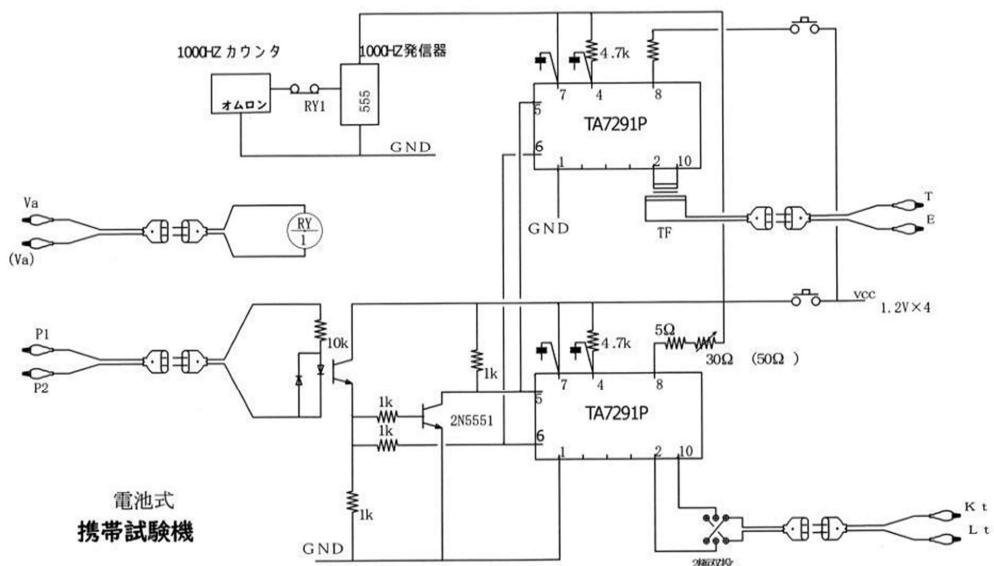
3番目は、まだ部品あつめ中です。PASに内蔵しているPTからの、電源線P1・P2からほんのちょっと信号もらって、その電源と同期をとり方形波を発生してkt・ltに試験電流を流そうって感じです。自己診断機能もあるようですが、kt・ltに試験電流を流して確実にトリップ電圧が出ることを確認したいのです。

こんな感じです





電池式携帯試験機



DGR動作確認できるかな？

趣味のドライブ

山形地区 NO924 佐藤 博昭

私の元気のみなもとは、ドライブです。雑誌やTV等のちょっと気になる情報を見つけ「パーッ」と車に乗って出かけます。ほとんどが東北地方ですが目的地の景色、遺産、その地域に伝わる伝説、食べ物、特産物など行ってみて初めて知ることが多く、この楽しみを味わいたく次は何処に行こうかと色々探すことも楽しみになっています。

とても印象に残っているドライブは秋田県の男鹿半島に行った時のことですが、夜中に入道崎の大きな駐車場に着き一休みした後に日の出を見た時です。キラキラと眩しく輝く朝日にしばらく見とれながら入道崎の広い芝生を散歩していると何とも言えない清々しい気持ちになり自然と力が湧いてくることを思い出しました。

戸賀湾に向かって走っていた時、藪の中から突然子ウサギが出てきたのでびっくりしてブレーキを踏み停止してしました。その後、車の前方10m位のところを「ピヨコピヨコ」走って行くのです。そんなに広くない道路の真ん中をゆっくり「ピヨコピヨコ」走ると言うか歩くと言うか追い越すわけにも、クラクションを鳴らして驚かすわけにもいかないし、しばらく子ウサギの後について行きました。運転するこちらの気持ちにもお構いなし、マイペースで道の真ん中を「ピヨコピヨコ」何とも可愛らしく見っていました。

また、男鹿半島に、ゴジラ岩があることを知り思わず写真を「パチリ」ちょうど白い雲がゴジラの口のところに有るものですから白い雲を赤くすればゴジラが火を吹いている様で、今ではスマホの待ち受け画面になっています。



ドライブに欠かせないものが音楽です。運転しながらお気に入りの曲が流れてくると思わず調子に乗ってハンドルを叩いてリズムを取ったり、足と手で調子を取ったりドライブが益々楽しくなり「長時間運転しています、休憩しませんか?」と車から注意される事もしばしばです。

こんな調子でドライブするものですから、まだまだ続けていくでしょう。これが私の元気のみなもとのなのでしょう。

わたしの こだわり自慢

私の思うところの

“こだわり”と“自慢”

天童・寒河江地区 NO878 石山 昭人

私自身、凡人も凡人な為、自慢できる事が何もありませんので、ちょっと私の妻を紹介したいと思います。興味の無い方には、大変失礼と思いますが、“こだわり”について、書きたいと思います。

私の妻は、一級建築士事務所の個人事業主です。屋号は「kokua home design（コクア ホーム デザイン）」と言います。妻が独身の時代から二人の子供が幼少の頃までは、建設会社で会社員をしていましたが、その会社が山形営業所を閉鎖する事になり。そのタイミングで、個人で設計事務所を開業する事になりました。開業から10年ぐらいになりますでしょうか。

開業当初は、設計だけでは、食べていけず、建設会社の設計の手伝いや測量のアルバイト、インテリアのコーディネイト、二級建築士の資格取得学校の講師などをやり食い繋いでいました。また、知り合いを通じ、ラジオやケーブルテレビでの宣伝、建築士会の講話や山形県土木環境促進のスタッフなど、PRに一生懸命でした。

そのようなPRの甲斐あって、人脈が広がり、4年目からは、軌道に乗り、ハウスメーカーからの設計依頼と住宅設備メーカーとタイアップした住宅企画やイベント、テレビ番組でお馴染みのビフォーアフターで匠賞を獲得された方を先頭に、そのメンバ

ーの一員としてお客様を獲得し、設計で食べていいけるようになっています。

建設会社や設計事務所・ハウスメーカーから社員採用の声がいくつもあり、また、私としても「収入が安定した会社員の方が良いべ～」と背中を押すのですが、妻は「嫌だ！社員になると、私の作りたい家が作れなくなる」と“こだわり”的ある家作りに強い意志があります。業界的に当協会のように先輩から譲り受けるものなど何もない、取って取られるかの世界で、飯を食っていけるのは、身内ながら本当に素晴らしい事だと思います。



私も開業から4年間は、なかなか顧客が増えず、苦労をしました。ですが、ただ地図を広げ、ただ風を待っていても、見向きもされませんし、気にも留めてもらえません。私たちは、先輩から譲り受けられる特権はあります、それでは、自分の色は、出せないし、セールスポイントも生まれないと思います。世の中から自分という存在を知って

もらい、自分のカラーを出すには、顧客獲得のための営業という“武者修行”は、必要だと感じました。そして、お客様に提供できるもの（そこには技術だけではない人との繋がり）は何か、付加価値はどういうものか、お客様が思う対価とはどれだけのものなのか等を知る事につながると思います。

最近、新たな事業場の契約のために、現在契約している顧客を手放す事になりました。その事を社長様にお伝えしたところ「それは困る。なんで、そんな事になるんだ！このまま続けてくれ！」と、仕事冥利に尽きる

お言葉を多数、頂戴しました。「信頼・信用、付加価値、対価」を常に考えながら仕事に従事しているからではないかと自負しています。

ですが、思うところは、やはり先人の方々並びに諸先輩方です。電気管理技術者協会という影も形もないところから、基盤を作り、一般に知られるまでに広め、顧客獲得のために身を粉にしてきた軌跡は、心から尊敬します。そういう先輩方がおられる事が自慢であります。



建築模型

支部の主な動き

※ 協会本部の理事会や各委員会などについては、本部の会報をご覧ください。

～これまでの経過～

区分	名称	日程	場所	備考
県支部	令和4年度 第2回支部研修会	R4/7/28(木)	山形ビッグウイング	
	支部だより No.63 発行	R4/8/1(月)	—	
	電気使用安全講習会	R4/9/8(木)	寒河江技術交流プラザ	35名
	第2回 支部幹事会	R4/9/30(金)	山形ビッグウイング	
	令和4年度 第3回支部研修会	R4/11/27(水)	あつみ温泉たしばなや	
各地区	山形地区 第1回地区研修会	R4/8/10(木)	ヤマコーセンター	16名
	酒田地区 第1回地区研修会	R4/8/10(木)	(メールにて代行者名簿交換)	
	新庄地区 第1回地区研修会	R4/10/18(火)	いぶし亭味彩処	7名
	置賜地区 第2回地区研修会	R4/10/28(火)	倉寿し	11名
	鶴岡地区 第2回地区研修会	R5/1/13(金)	盛華樓	10名

～これから予定～

区分	年度	名称	日程	場所	備考
各地区	R4	各地区 第2回地区研修会	未定	(山形・天童・寒河江 新庄・酒田 各地区)	
県支部		第3回 支部幹事会	2月末	山形ビッグウイング	

～支部会員の動き～

区分	地区	氏名	日付
賛助会員	入会	山形市 目黒 初雄	R4/7/7
		山形市 片岡 大地	R4/10/7



＊＊＊＊ あとがき ＊＊＊＊

コロナ感染対策としてマスク着用・手のアルコール消毒などは日常的に行ってますが、やはりワクチン接種が一番の対策ではないでしょうか。あとは体調を万全にして抵抗力をつけることだと思います。うまいもの食べ・十分な睡眠をとり・体の中をアルコールで消毒する？今年も少し我慢の1年になります。

広報委員 岸 勇一

支部だより No.64

令和5年1月30日発行

(一社) 東北電気管理技術者協会
山形県支部

〒990-0863
山形市江南四丁目10番14-10号
TEL 023-665-1070
FAX 023-665-1071
Eメール info@eme-yamagata.com

編集責任者 広報委員／岸 勇一